

西東京市『ささえあいネットワーク』 事業協定を締結しました



フォレアスだより

当ステーションは、この度

西東京市と事業協定を締結致しました。具体的には、西東京市社会福祉協議会が運営する『西東京市地域サポート・リンク』のささえあい協力団体として、見守り活動等を行います。

日頃の訪問活動を通じて、地域に住むご高齢の方々の異変に気付いた際には、お声かけを行ったり、関係機関と連携を図るなど、みなさんが安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

こうした活動の背景として、当社の社名には「(地域社会の)希望と安心の実現」という意味が込められております。この理念を実現していくために、自分たちが出来ることを、一歩ずつ進めていければと考えております。



NO.2
2025.4
隔月発行

今月のインタビュー

「フォレアスだより」は訪問看護の認知向上を図るために発行する当社広報誌です。

企画・編集:
フォレアス
訪問看護
ステーション



高井 雅姫

フォレアス
訪問看護
ステーション
看護師

今年1月に入社
の看護師・高井さん
をご紹介します。

どのようなきっかけで
入職したのですか？

出産、育児でしばらく仕事を離れており、久し振りの仕事復帰となりました。出産前まで訪問看護ステーションで勤務しており、復帰後はまた訪問の仕事してみたいと考え、今回柔軟な働き方ができるフォレアス訪問看護ステーションに入職いたしました。お昼までの勤務ですので、子育てにも時間を割くことができています。

どんなときにやりがい
を感じますか？

ご利用者様から「あなたが来てくれると安心する」といった言葉をかけていただいた時に、とても嬉しくやらいを感じます。天候に左右される訪問は大変さもありますが、季節の移り変わりを感じられ、楽しく仕事をしています。

これからの目標は？

ご利用者様一人一人がご希望される生活をしっかりと理解し、より安心してケアを受けていきたいと思いますね。訪問看護はとても奥が深いので、日々勉強を重ねていきたいです。

おでかけイベント情報

4月4日・11日・18日・25日

午前9時～午前11時

@東伏見ふれあいプラザ
(地元農産物の販売)

4月12日(土)

未来は選択できる！エフェクチュエーションで理想の未来を手に入れる
オンライン形式 ZOOM
参加無料

※西東京市役所HP「イベント情報」より抜粋。詳細は西東京市役所へお問い合わせください。

訪問看護師の『元気ライフ』

「毎日の習慣がもたらす健康メリット」

” 1日3～4杯のコーヒー”



国立がん研究センターの研究によると、コーヒーを習慣的に飲んでいる人は、飲まない人に比べて心疾患や脳血管疾患、呼吸器疾患による死亡リスクが低下し、1日3～4杯まではコーヒーの摂取量が増えるほどリスクが低くなるそうです。一方で、飲み過ぎると胃酸の分泌量が増え過ぎ、胃の粘膜が刺激され、胸焼けや腹痛などが生じることがあります。また、夜間の過剰摂取により、目が覚めてしまい睡眠不足などの弊害が生じる場合があります。

眠気覚ましのカフェインは効果的ですが、一時的に元気になっても、それは「元気の前借り」であり、反動で後から強い疲労を感じる場合がありますのでご注意ください。

『看護』と『終活』の一貫サービス

練馬石神井支店での事例をご紹介します。本ご利用者様は、当社が提携する終活関連会社様からのご紹介をきっかけに、訪問看護サービスが開始しました。

本ご利用者様は末期がんを抱えておられ、痛みや不安の緩和が主なケアでした。生前のご準備の甲斐もあって、最期をお迎えになった際、エンゼルケアやご葬儀の手配、そして司法書士にて金融機関の相続手続きを行うなど、ご家族様が安心してお見送り頂けるお手伝いをさせて頂きました。当ステーションでは、こうした形で皆様に安心して暮し頂ける様、訪問看護に加え、成年後見や相続手続き等、様々なお手伝いを行っております。

おひなまつり開催

練馬石神井支店では、3月2日から20日にかけて、NPO法人福祉サロン様と協力して、「おひなまつり」を開催いたしました。開催期間中は、地域の方が持ち寄った豪華なひな人形が飾られ、三味線の演奏会がおこなわれるなど、賑わいを見せていました。



終活コラム

当ステーション所属の司法書士による「終活コラム」を掲載するコーナーです。

単身高齢者は声を上げづらい・・・？

単身暮らしのご高齢者の方にとって、役所からのお知らせや、病院の事務手続き、お金の管理などは、誰にも相談できない大きな悩みの一つです。耳や目、足腰の衰えなどにより、多くの時間がかかったり、理解が困難になっていても、周囲の人に気づいてもらいにくいものです。またご本人も声を上げづらい場合もあります。

銀行口座の使い分けが課題の相談者

ある方のご支援を始めるにあたり、聞き取りを行ったところ、お金の管理が課題でした。銀行口座が「年金受取用」と「生活資金用」とで異なっており、生活資金用口座が底をつきかけている状態にありました。

『財産管理委任』という選択肢

介護保険や公的サービスだけでは本当に必要な支援を届けることが難しい場合、「財産管理委任」という選択肢があります。信頼できる相手と契約を交わし、本人にとって必要な支援を1点から委任できる契約です。成年後見制度を開始する前に、一度検討してみたいかがでしょうか？候補者がいない場合は、当社に一度ご相談ください。



井原 哲也

司法書士・FP2級
趣味：サッカー・スクラッチアート



美しい『大和言葉』で想いを伝える

はなむけ

～旅立つ人に贈る言葉～

3月は卒業シーズンです。新天地に旅立つ人に対し、送別会を開いたり、贈り物をしたりすることがあります。それが「はなむけ」です。送別会の挨拶では、「これをはなむけとします」と締めくくることがあります。この「はなむけ」という言葉を、花や花束に由来すると誤解している人がいますが、実は「鼻」です。「馬の鼻向け」から出た言葉です。古くには、見送る人が旅立つ人の馬の鼻を目的地へ向け、安全を祈る風習がありました。交通機関が発達していない昔の旅は危険がいっぱいで、任地へ向かうにも二度と会えない事を想定し、無事を祈ったそうです。なお、はなむけは「餞」と書き、餞別の餞の字です。旅立つ人を気持ちよく送り出してあげたいものですね。

管理者だより

2024年8月にフォレアス訪問看護ステーションはオープンし、早いもので9カ月が経ちました。お陰様でご利用者様や地域の関係者・事業者様とのご縁が日々広がっていくのを実感しています。冒頭記事で触れましたが、私たちの活動の軸である「(地域社会の) 希望と安心の実現」に対して、共感してくれた新しいスタッフもこの度加入致しました。まだまだ至らぬ点もあるかと思いますが、地域に必要とされるステーションを目指して、これからも日々奮闘して参ります。(管理者 井原 亜沙子)